



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザキ
代表者名 代表取締役会長兼社長 山崎 好夫
(JASDAQ・コード 6147)
問合せ先
役職・氏名 代表取締役専務 山崎 好和
電話 053-434-3011(代)

剰余金の配当（復配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件につきましては、平成 30 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 12 日) | 前期実績 |
|----------------|------------------|-------------------------------|------------------|
| 基 準 日 | 平成 30 年 3 月 31 日 | 平成 30 年 3 月 31 日 | 平成 29 年 3 月 31 日 |
| 1 株 当 たり 配 当 金 | 5 円 00 銭 | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 |
| 配 当 金 の 総 額 | 22 百万円 | — | — |
| 効 力 発 生 日 | 平成 30 年 6 月 29 日 | — | — |
| 配 当 原 資 | 資本剰余金 | — | — |

(注) 純資産減少割合 0.013 (小数点以下 3 位未満切り上げ)

2. 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要項目の一つと考えており、安定基盤の確立に努めるとともに、将来にわたり収益に対応した配分を行うことを基本方針としております。

配当につきましては、平成22年3月期より無配を継続しておりましたが、連結業績においては、7期連続で親会社株主に帰属する当期純利益を計上しており、経営成績・財政状態に一定程度の改善を図ることができました。個別業績においては、当期純損失を計上しておりますが、上記基本方針及び今後の経営状況等を総合的に検討した結果、資本剰余金からの配当を行うことを決議いたしました。

以 上